

実施計画の趣旨

しかしながら、放射性物質に汚染された廃棄物や除去土壌等の処理が進んでいないなど、放射線・放射能対策としては依然として様々な課題が残っていることから、引き続き原発事故被害対策に全力で取り組んでいく必要があるため、平成２９年３月に基本方針を改訂した。県としては、引き続き放射線・放射能の監視・測定や汚染物等の処理など事故被害対策の継続実施に万全を期するため、平成２９年度以降の事業・取組等を「実施計画（第３期）」（平成２９～３２年度）として取りまとめた。

震災以前の安全・安心なみやぎの再生

これまでに誰も経験したことのない未曾有の原子力災害に正面から向き合い、震災以前の安全・安心なみやぎを再生するために、県は市町村・民間団体・県民と一体となって取り組んでまいります。

(1) きめ細かなモニタリングの継続

- ## 2 実施計画（第3期）の構成

一方、実施計画（第3期）では、初期の目的を達成した事業や、再掲事業などの整理により事業数が減少したことから、これまでの7つの個別取組を5つに見直し、より効果的な対策を実施できるようにしている。

第1「放射線・放射能の監視・測定」

空間放射線量の常時測定，飲食物・学校給食等の放射性物質濃度の検査

第2「汚染・風評被害への十分な対応」

事業継続に向けた総合的な金融・経営支援やイベント・PR等を通じた風評被害拡大の防止

第3「汚染物・廃棄物の速やかな処理」

国・市町村等と一体となった廃棄物の適切な処理の促進

第4 「損害への対応」

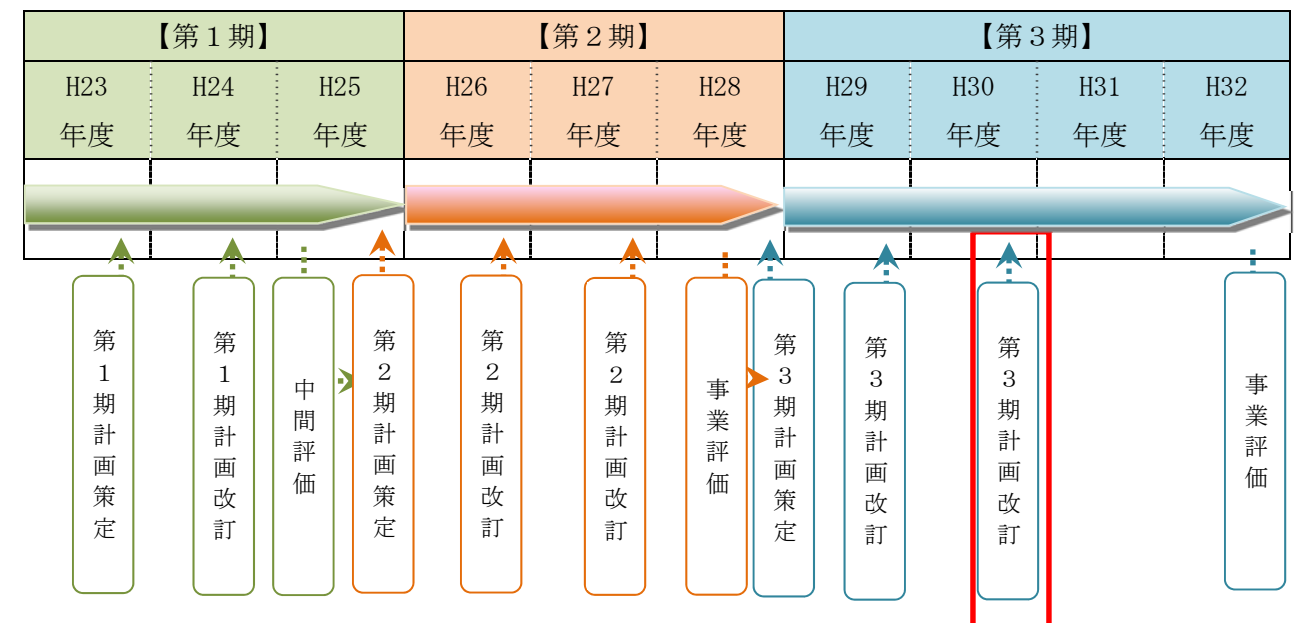
民間事業者等に対する損害賠償請求支援

第5 「正しい知識の普及・啓発」

放射線等に関するセミナー開催、放射能に関するポータルサイトの運営、放射能に関するパンフレットの作成等を通じた県民の放射線等に対する正しい知識の普及・啓発

計画期間については、未だに原発事故の収束を見通すことが困難なことから、上位計画である「宮城県震災復興計画」（10年間）の終期と合わせて平成29年度から32年度までの4年間としている。

実施年度



施 策 体 系		
個別取組		主な事業・取組
<div>第1 放射線・放射能の監視・測定 (p6)</div> <div>「宮城県放射線・放射能測定実施計画」 (p6)</div>	1 放射線量率のモニタリング (p7)	>環境放射能水準調査事業 【モニタリングポストによる常時監視等】 >放射線・放射能広報事業 【携帯型放射線測定器等による随時測定，航空機モニタリング等】 >港湾利用促進事業 【港湾内空間放射線量測定等】 など (6 事業)
	2 放射性物質濃度のモニタリング (p10)	>県産農林水産物放射性物質対策事業 【県産農林水産物の出荷・流通前放射性物質検査】 >肉用牛出荷円滑化推進事業 【県産牛の安心・安全な確保のための肉用牛全頭の放射性物質検査】 >水産物安全性確保対策事業 【県産水産物の安全流通に資するための水産物の放射性物質検査】 >放射性物質検査対策事業 【流通段階の加工食品の放射性物質検査】 など (延べ26事業) ■残留放射性物質検査関係事業 【農業試験研究機関等が行う農産物の放射性物質検査の体制整備】
<div>第2 汚染・風評被害への十分な対応 (p18)</div>	1 風評被害対策など (p18)	>中小企業経営安定資金等貸付金 【震災により直接・間接の被害を受けた中小企業への金融支援】 >販路拡大推進支援事業 【販路拡大のため宮城県商工会議所連合会等が開催する商談会等に係る支援】 >みやぎの肉用牛のイメージアップ事業 【県産肉用牛等の信頼回復と消費拡大支援】 >「食材王国みやぎ」魅力発信プロジェクト事業 【県産農林水産物等の信頼回復と消費拡大をはかるための各種広報媒体等PR】 >外国人観光客災害復興緊急誘致促進事業 【大幅に減少した外国人観光客の積極的な誘致のための正確な情報の提供】 など (15 事業) ■商談会開催支援事業 【販路拡大のため宮城県商工会議所連合会等が開催する商談会等に係る支援】 ■東日本大震災農林業災害対策資金利子補給事業 【原発事故に伴う出荷停止等による損害を受けた農林業者に対する利子補給】 ■市町村農林業災害対策資金特別利子助成事業 【東日本大震災農林業災害対策資金の利子補給を行う被災市町村への利子助成】 ■観光復興緊急対策事業 【県内外からの誘客のため正確な観光情報の提供】 ■みやぎ観光復興イメージアップ事業 【JR等と連携した本県イメージアップや旅行意欲喚起のための首都圏PR】
	2 技術支援など (p26)	>農産物放射能対策事業 【農産物の放射性物質の吸収要因解析等】 >きのこ生産資材供給体制整備事業 【安全な県産原木の供給再開に向けた検査体制の整備等】 >ほだ木等原木林再生実証事業 【萌芽更新による原木林の再生に向けた実証等】 など (延べ 6 事業)
<div>第3 汚染物・廃棄物の速やかな処理 (p29)</div>		>放射性物質汚染廃棄物処理促進事業 【廃棄物の適切な処理の促進】 >給与自粛牧草等処理円滑化事業 【汚染稲わら等の一時保管施設管理】 >企業局における浄水発生土管理等事業 【浄水発生土の保管・管理・搬出】 >除染対策支援事業 【除去土壌等の適切な処理の促進】 (4 事業) ■下水汚泥焼却灰等の保管・管理業務 【放射性物質を含む下水汚泥焼却灰及び汚泥燃料化物の保管・管理・搬出業務】
<div>第4 損害への対応 (p31)</div>		>福島第一原発事故損害賠償請求支援事業 【個別無料相談会等の開催等】 (1 事業)
<div>第5 正しい知識の普及・啓発 (p32)</div>		>放射線健康対策事業 【国が行う健康不安対策やリスクコミュニケーションに係る事業への協力等】 >放射線・放射能広報事業 【放射線・放射能に関するセミナー・相談会の開催，放射能情報サイトみやぎの運営，みやぎ出前講座の実施，放射能に関するパンフレットの作成等】 >学校教育における放射線に関する指導及び調査 【副読本等を活用した放射線に関する授業 など】 (3 事業)
※ () 内は，実施計画のページ数		※ 赤字は，平成31年度に新たにに取り組む事業 ※ 青字は，平成30年度で終了する事業 合計 (延べ61事業)